



シニアTRYアスロン

自分もまだできる！健康と向き合うイベント

コミセンわじろでは、10月4日(土)に、毎年恒例の「シニアTRYアスロン」を開催します。

シニアTRYアスロンは、「体(体力チェック)」、「頭(脳トレ)」、「心(コミュニケーション)」の3つの競技にチャレンジいただき、楽しく体や頭を動かしながら、自分自身の今の健康について考える健康測定イベントです。

対象は65歳以上ではありますが、**年齢問わずどなたでもご参加いただけます。**例年同様、Inbodyや血管年齢、骨密度などの測定や、スポーツ指導員による健康体操を行います。今年は、3つの競技の他に、企業の地域貢献ブースとして、福岡ヤクルト販売株式会社による講座や九州リオン株式会社による難聴と認知症の仕組みなどを学ぶブースもご用意しています。他にも三苦校区ヘルスマイトが進めている「野菜計量チャレンジ」などがあります。ぜひ今の自分の健康を考えてみませんか？この機会にコミセンわじろに遊びに来てください。

《「シニアTRYアスロン2025」詳細》

【日時】2025年10月4日(土) 9:30~12:30

【会場】3階 体育館 【参加費】無料(事前申込不要)

【協力】福岡和白病院/香椎丘リハビリテーション病院/福岡ヤクルト販売株式会社/九州リオン株式会社/福岡工業大学附属 城東高等学校 映像クリエイター部/三苦校区ヘルスマイト 【問合せ】092-608-8480



▲スポーツ指導員による健康体操の様子



▲城東高等学校の生徒が考えたじゃんけんゲーム

参加無料!
(事前申込不要)

コミセンわじろからのお知らせ 三苦海岸付近の遊泳注意

今年6月、福岡市東区の三苦海岸で、遊んでいた子どもが亡くなるという悲しい水難事故が起きました。福岡市では市内全ての市立学校に注意喚起として「子どもだけで川や海には絶対に行かない」「川、海、溜池などの危険水域、立ち入り禁止区域には行かない」ことを子どもたちに伝えています。

大人の私たちも、より一層の注意が必要です。わじろの5小学校校区(和白、奈多、三苦、美和台、和白東)でもこの件が話し合わせ、今年8月から海岸近くの綿津見神社と三苦公園に、注意喚起する看板を出すことになりました。子どもたちだけで海で遊んでいる景色を見かけたら、必ず声掛けや確認をお願いいたします。



▲綿津見神社に設置された看板



〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27
☎092-608-8480 FAX:092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで(多目的ホールは午後10時まで)
【休館日】毎月最終月曜日(祝日のときは翌日)、及び年末年始(12/28~1/3)



公式HP facebook

より詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <https://wajiro.info>

facebookでも、コミセンわじろの日常を発信中!

facebook www.facebook.com/komisenwajiro



Contents

- わじかつ 多文化交流とやさしい日本語教室
- わじかつ みわだいファーム・トマトの会
- わじじん キエラン エディ(キウイ)
- わじとび シニアTRYアスロン
- 三苦海岸付近の遊泳注意



多文化交流とやさしい日本語教室

地域が仕掛ける交流と学びの機会

福岡市としても力を入れている、多文化交流事業。和白公民館でも昨年からスタートしました。和白校区自治協議会の人権尊重推進委員会が主催となり、日本語教室が開催されています。自治協議会的主催は福岡市で和白が初めてとのことで、自治協議会の野口会長と人権尊重推進委員会の賀屋会長にお話を伺いました。

Q.どんな活動ですか？

和白地域に住んでいる外国の方に向けて日本語教室を実施しています。この活動は、今年で2年目になります。スタート時は、参加者を集めるために、地域で働いている外国の方に声をかけたり、近くのさくら日本語学院に相談に行ったりと多くの方に協力していただきました。活動を支えるボランティアも、公民館だよりなどの呼びかけで、地域からたくさんの方に集まっていただきました。

今年6月からスタートし半年間、毎月第2、第4土曜日に実施しています。第2土曜日は福岡市を通じて、福岡よかトピア国際交流財団から講師の方に来ていただき、日本語教室を行っています。第4土曜日は交流会を実施し、アイデアや企画を自分たちで考えながら進めています。日本での生活の中でプラスになるマナーや日本文化を伝える機会にしたいと考えています。

Q.この活動の魅力は？

参加者やボランティア同士の仲間づくりが何より大切だと考えています。参加者から「楽しかった！」という声をいただけることが、とても嬉しいです。

さくら日本語学院の生徒の皆さんも多く参加しており、学校の中だけでなく、地域の中で外国籍の方と交流できるのも魅力のひとつです。昨年は参加者だった外国籍



▲グループに分かれてのコミュニケーション

の方が、今年はボランティアとして参加し、参加者への通訳としても活躍してくれています。このように次へとつながっていく関わりを大切にしていきたいと思えます。多くの協力者が支えてくださるのも、この活動ならではの特徴です。

Q.今後の展開を教えてください

地域では若い世代が少ないことが課題となっていますが、一方で外国の若い方は年々増えています。そこで、その力を地域活動に生かせないかと考えています。そのためにも、この日本語教室を通じて交流を深め、いずれは地域の行事と一緒に取り組めるようになると良いと思っています。体育祭で競技に参加したり、夏祭りの準備と一緒に輪踊りに参加するなど、自分たちの住む地域により愛着を持って生活していただけると嬉しいです。

《多文化交流とやさしい日本語教室》
【日程】12月までの第2、第4土曜日 10:00~11:30
【会場】和白公民館
【問合せ】092-606-3001 (和白公民館)



▲交流会の企画はみんなで考えながら実施



▲講師の方から、日本のマナーなどを習う



▲最初は自己紹介などを行い、少しずつコミュニケーションを取って仲良くなる



みわだいいファーム・トマトの会

地域で育てるみんなの農園

若い世代を中心に、農業への関心が高まっています。今回は、地域の方と農園を行っている、みわだいいファーム・トマトの会の松原さんにお話を伺いました。

Q.どんな活動ですか？

この活動は令和3年から始まりました。活動のきっかけはコロナです。当時様々な活動が制限されているなか、人と人の接触が少なく、外で行えるということで畑を始めました。この会はどこでも参加することができ、毎週金曜日と日曜日が主な活動日となっています。トマトの会という名前ですが、実はトマトを育てたのは今年が初めてでした。メンバーみんな農業初心者なので、基本的に育てやすいさつまいもや、玉ねぎなどを中心に育てており、その他は、みんなでコミュニケーションを取りながら、育てる野菜を決めたりしています。



▲メンバーで集まってみんなで草むしり



▲季節に合わせて育てられた野菜

地域のために活動している外国の方が増えています。今回は静ヶ丘保育園で働きながら、公民館などで英語を使っているエディさんにお話を伺いました。みんなから「キウイ先生」と呼ばれ親しまれています。

ニュージーランド出身で、4年前に日本にきました。来日のきっかけは、妻が美和台校区にある静ヶ丘保育園の園長を勤めることになったことと、ちょうどその頃、息子が小学校に入学するタイミングが重なったことです。息子にそろそろ言語教育を、と考えるようになりました。日本語を学ぶなら日本で、そして日本の文化に触れることの大切さも感じていました。

来日から3年ほど経ち、前からの趣味としてラグビー



▲美和台公民館で実施した貯金箱を作るワークショップの様子



キエラン エディ (キウイ)

地域のために子どもたちのためにできること

でつながり、そこからボランティアでコーチをするようになりました。教えることの楽しさや楽しさを感じながら、子どもたちの関わりが自分にとって大きなやりがいになっていることに、驚きと喜びを感じています。教えているとき、子どもたちの目の色が変わる瞬間があり、言語が違ってもちゃんと伝わっているんだと実感します。

これまで日本以外で「地域性」を感じたことはありませんでした。海外では友人同士の付き合いはありましたが、日本は地域ごとに区画されていて、町内での掃除や草むしりといった活動が多く、最初は驚きました。でも今では、それがとても素敵だと感じています。僕は何ができるわけでもないけれど、「地域のために」という視点があれば、きっと何かできることがあると感じています。お願いが来たらその答えはYESです。

今は保育園でも少しずつ働くようになり、子どもたちとの関わりをもっと深めていきたいと考えています。掃き掃除をしていると、子どもたちが自然と寄ってきてくれるのも嬉しいですね。地域で見かけたら、ぜひ声をかけてください。

